

施策の方向性（抜粋）

1 しあわせ信州創造プラン（長野県総合5か年計画）〈計画期間：H25～29年度〉

第4編 プロジェクトによる施策の推進

1 次世代産業創出プロジェクト ～技術集積と起業家精神を基礎とした次世代産業の創出～

アクション3 産業人材の育成・確保強化

県外から次世代産業の中心となる人材を招くとともに、職業能力開発の体制を整備することにより、産業人材づくりを進めます。

（主な取組）

- 本県で開催した長野技能五輪・アビリンピック 2012 の成果をもとに、若年者等の技能に対する関心を高め、次世代を担う人材を育成します。
- 高度な技術を持った人材を県下全域に継続的に輩出するための拠点として、上伊那地域への工科短期大学南信キャンパス（仮称）の設置に向けた取組を進めます。
- 職場体験など発達段階に応じた体系的なキャリア教育により、児童生徒の勤労観や職業観を育み、産業人材としての基礎を築きます。

第5編 施策の総合的展開

第1章 産業・雇用

1 - 1 信州をけん引するものづくり産業の振興

◆人材の育成・確保

- 工科短期大学や技術専門学校において、企業ニーズに対応した実践的な技能・技術を持った人材を育成するとともに、環境・次世代交通など新たな成長分野の専門知識・技能を身に付けた人材を育成します。
- 高度な技術を持った人材を県下全域に継続的に輩出するための拠点として、上伊那地域への工科短期大学南信キャンパス（仮称）の設置に向けた取組を進めます。
- 長野技能五輪・アビリンピック 2012 の成果をもとに、長野県産業人材育成支援ネットワーク等と連携しながら、本県のものづくり産業を支える人材の育成と技能継承に取り組みます。
- ものづくり産業に携わる企業の在職者にスキルアップの機会を提供することにより、企業の人材育成を支援します。

1 - 5 地域の暮らしを支える産業の振興

◆地域に根ざした建設産業の振興

- 建設産業の次代を担う人材を確保するため、技術専門学校等での後継者の育成を進めるとともに、関係団体と協働で建設系学科の高校生などに対し講習・研修等に取り組みます。

1 - 6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり

◆職業能力開発の推進

- 長野県産業人材育成支援ネットワークとの連携により、学生から社会人まで、それぞれのライフステージに応じた産業人材の育成を総合的に支援します。
- 障害者、母子家庭の母、学卒未就職者などの特別な支援を必要とする者に対し、一人ひとりに応じた職業能力開発を推進します。
- 離職者が再就職するために必要な技能・技術を習得するための訓練を実施します。
- 工科短期大学校や技術専門校において、産業界のニーズや新たな成長分野に対応した知識と技術・技能を有する人材を養成します。
- 高度な技術を持った人材を県下全域に継続的に輩出するための拠点として、上伊那地域への工科短期大学校南信キャンパス（仮称）の設置に向けた取組を進めます。

V 施策展開

2 社会増への転換

(3) 知の集積と教育の充実

イ 未来の信州を担う子どもたちの教育の充実

【施策の基本的方向】

人口減少社会において、地域の活力の低下が懸念される中で、学力・体力の更なる向上など、将来の地域を担う人材の育成が課題となっていることから、子ども一人ひとりの能力を最大限引き出すとともに、県内への定着を促進していくことが必要です。

このため、子どもたち一人ひとりが自らの豊かな人生を切り拓いていけるよう、学力・体力の向上、産業界と連携したキャリア教育、グローバル時代の中で世界に通じる力の育成、地域の特色や良さを学ぶ学習など、長野県の豊かな自然や歴史・文化の中で特色ある教育を推進し、長野県の未来を創造していく人材の育成に取り組みます。

【具体的な施策展開】

- 児童生徒の職業観や社会性を育成するため、地域社会、産業界が学校を支援する仕組みを構築し、児童生徒の職業体験、就業体験を推進します。

3 仕事と収入の確保

(2) 経済の自立的発展を支える担い手の確保

イ 県内産業が必要とする人材の確保・育成

【施策の基本的方向】

労働力人口が引き続き減少すると見込まれる中で、県内経済の活力を維持していくためには、産業を担う人材を確保する必要があります。

このため、製造業や建設業、農林業など様々な産業分野が必要とする人材の育成に取り組みます。

【具体的な施策展開】

- 教育段階から独立まで一貫した高度な技能人材育成の仕組みづくりと、技能人材が尊重される社会づくりを目指す信州マイスター構想（仮称）を研究します。
- 専門高校（職業高校）において、デュアルシステムの導入・拡大など地域や企業等と連携した産業教育を推進し、地域産業を担う職業人として活躍できる人材を育成します。
- 人材の育成・確保や県民のライフステージに応じたキャリア教育等を促進するため、在職者向けの講習会や高校生等を対象に信州ものづくりマイスターによる講習等を実施します。
- 技術専門学校において、新規学卒者、離転職者等に対し、就業に必要な基礎的な技能・知識習得のための職業訓練を実施します。
- 工科短期大学校及び平成28年4月に開校する南信工科短期大学校において、県内産業界の求める高度な技能・技術を持った人材を育成します。
- 建設産業団体、教育機関、教育訓練施設等からなる長野県建設産業担い手確保・育成コンソーシアム（仮称）に参画し、建設産業の担い手確保・育成策について検討します。

3 ものづくり産業振興戦略プラン〈計画期間：H24～28年度〉

第V章 重点プロジェクト

【重点PJ10】高度技能人材の育成、キャリア形成の支援

- 先端技術の知識と実践的技能・技術を持った人材を育成するため、工科短期大学の充実を図るとともに、南信地域への工科短大機能の配置の検討を進めていく。
- 信州ものづくりマイスター制度の推進により、次世代を担う技能者の育成とキャリア教育を支援する。
- 産業人材育成支援ネットワークとの連携により、キャリア形成支援の一層の推進を行う。

〈工科短期大学機能の配置による産業人材育成の充実強化〉

県内産業界のニーズに対応した高度な技能・技術を持った人材を県下全域に継続的に輩出するため、高度人材育成拠点として、南信地域への工科短期大学機能の配置を検討し、産業人材育成の充実強化を図る。

また、技術専門校では、企業ニーズ、技能の動向を検証しつつ、基幹産業を担う技能者を育成していくとともに、「省エネ機器」「次世代自動車」などの専門知識・技能を身につけた人材を、国が研究開発を予定している訓練カリキュラム等を導入する方法などにより育成していく。

〈ライフステージに応じたキャリア形成支援〉

若年者の就業率の低下やものづくり離れが見られる中、長野県キャリア教育支援センター（H24.4 県教育委員会内に設置予定）等と連携を図りながら、信州ものづくりマイスター制度などの効果的な活用により、小・中・高校のキャリア教育の中の各段階で、ものづくり産業の存在感を高め、次世代を担う技能者の育成を図っていく。

また、県内ものづくり産業の技術力の維持・向上、技能の継承及び若年技能者等の育成を段階的、体系的に推進するため、産業界が求めている専門技術・技能の習得を目的とした産業人材カレッジ（スキルアップ講座）の実施や信州ものづくりマイスターの派遣による研修などにより、様々な課題を抱える中小企業等を積極的に支援していく。

〈産業人材育成支援センター機能の強化〉

産業界、教育界、行政などの連携基盤である「産業人材育成支援ネットワーク」のコーディネート機能を強化し、それぞれの推進主体がその役割を適切に果たしながら、ライフステージに応じた産業人材育成を総合的に支援していくとともに、技能五輪長野大会を一過性のものとして終わらせることなく、産学官連携による効果的なプログラム・仕組みづくり等について積極的に提案をしていく。